



# 岸和田再生に向け議論白熱【6月定例会】

## 議長に山田幸夫議員、副議長に雪本清浩議員を選出【臨時会】



工場建設が進む ちきりアイランド(阪南2区)

第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。

第2回定例会では、市長から14件の議案が提案され、原案のとおり可決しました。議員からは、意見書3件を提案し、可決しました。一般質問では、10人の議員が市政各般にわたる理事者の見解をたどりました。

### 第1回臨時会

5月14日・15日

第1回臨時会では、議長に山田幸夫議員、副議長に雪本清浩議員を選出しました。

また、議会の役職構成も次のとおり決定しました。

第2回定例会は、6月17日に開会し、監査結果の報告や土地開発公社、㈱テレビ岸和田などの経営状況の報告を受けました。

### 第2回定例会

6月17日～24日

《総務常任委員》  
◎信貴 芳則 ○米田 貴志  
雪本 清浩 池田 啓子  
大松 政司 山田 幸夫  
今口千代子 西田 昌  
小寺 峰男 村野 精

《文教民生常任委員》  
◎鳥居 宏次 ○松本 妙子  
清水 隆司 池内 矢一  
中井 良介 岸田 厚  
中塚 茂春 石田亀太郎

《事業常任委員》  
◎西村 芳徳 ○京西 且哲  
澤 榮一 岡林 憲二  
森 隆 稲田 悦治  
井上孝三郎 小川 和夫  
◎印委員長 ○印副委員長

### 第3回定例会予定

傍聴される人は、当日、市役所新館3階 議会受付へお越しください。(午前10時開会予定)

- ▶ 8月26日(火) 本会議 13:00～ 福祉総合センター及び周辺地域活性化調査特別委員会
- ▶ 8月27日(水) 文教民生常任委員会
- ▶ 8月28日(木) 事業常任委員会
- ▶ 8月29日(金) 総務常任委員会
- ▶ 9月2日(火) 本会議 13:00～ 決算特別委員会
- ▶ 9月3日(水) 決算特別委員会 (土・日は休会) ～8日(月)
- ▶ 9月10日(水) 本会議
- ▶ 9月11日(木) 本会議

※日程は、変更される場合があります。

### 意見書を可決

議員提案により可決した次の意見書は、国会や内閣総理大臣、関係する各大臣、大阪府知事に提出しました。

- ▽使用済み携帯電話リサイクルの推進を求める意見書
- ▽「グローバル・デー」(地球温暖化防止の日)の創設等を求める意見書
- ▽「街かどデイハウス支援事業」の継続を求める意見書

### 特別委員会を設置

老朽化による建替えが必要な福祉総合センターは、重要な行政財産であり、その敷地の有効活用及び周辺地域の活性化について、調査・検討するため、17日の本会議で「福祉総合センター及び周辺地域活性化調査特別委員会」を設置した。

その後、委員会を開会し理事者からこれまでの経過報告を受け、議会の閉会中も継続して調査することに決定しました。

《福祉総合センター及び周辺地域活性化調査特別委員会》  
◎村野 精 ○大松 政司  
池内 矢一 森 隆  
稲田 悦治 岸田 厚  
西田 昌

### 暑中見舞状や寄附の禁止

公職選挙法により、議員による暑中見舞状や祭礼など各種行事への寄附が禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 大阪維新プログラム案に

### 対する本市の対応は

その他の質問

【問】府の大阪維新プログラム案により、本市が影響を受ける事業について「同案に準じる」市の一般財源の範囲で事業を行う「府補助金の削減分を市の一般財源で肩代わりする」と3つの対応を示している。

【答】来年度は対象事業、金額についても影響が拡大するものと思われる。しかし、本市も行政再生プランを実施中であり、新たな市の財政負担とならないよう、また事業の削減により市民生活に影響を及ぼさないよう府と協議し、必要に応じて市と協議の判断をしていきたい。

### 指定袋によるごみの有料化の前に

### 検討すべきことは

◎災害時における浪切ホールの位置付けについて

【問】行財政再生プランでは、21年度から指定袋制によるごみの有料化が計画されている。

袋1枚50円で販売した場合、約3億2千万円の売上を見込んでいるが収益はどの程度なのか。

【答】審議会の答申どおり試算した場合、売上額は約2億4千3百万円と見込まれる。

経費については原油高に伴う原材料費高騰の影響を受けるが、袋の形状や材質などによる製作費の低減を検討しており、現時点において収支は示せない。

【問】歳入確保の必要性は理解できるが、指定袋制では期待する財政効果は得られないと考える。

プラスチックごみの分別には大きな経費がかかっていること、可燃ごみとして扱うことなど、有料化の前に行うべきことをすべきと思うがどうか。

【答】ごみの減量やリサイクル方法の改善を図るとともに、容器包装リサイクル法上の問題点の整理、清掃工場の管理運営方法の見直しなど、貝塚市との協議を進めながら経費削減に取り組む。